

# 江南市総合計画市民会議 議事要旨 (第2回 第2分科会 (ひとづくり分野・ちいきづくり分野))

日 時 令和5年12月8日(金) 9:30~11:30  
会 場 江南市役所 防災センター研修室2  
出席者 出席委員10名

## ■委員

〈会長〉	松尾 昌之	江南市子ども・子育て会議 会長
〈副会長〉	高田 朝子	公募市民
	大野陽奈子	公募市民
	安田 裕子	公募市民
	鈴木 秀明	江南市社会福祉協議会
	人見 浩司	名古屋経済大学 経済学部特任教授
	茶原 健二	江南市総合計画策定部会 (ひとづくり分野) 部会長
	間宮 徹	江南市総合計画策定部会 (ひとづくり分野) 副部会長
	花木 康裕	江南市総合計画策定部会 (ちいきづくり分野) 部会長
	平野 優子	江南市総合計画策定部会 (ちいきづくり分野) 副部会長

## ■傍聴者

3名

## ◆議題

### 1 報告

(1) 第1回議事要旨の確認について

### 2 議題

(1) 後期基本計画(分野別計画)(案)について

### 3 その他

<配付資料>

資料1 第1回江南市総合計画市民会議(第2分科会)議事要旨

## ◆会議結果

### 1 開会

事務局より挨拶

### 2 報告

(1) 第1回議事要旨の確認について

- (会 長) 報告(1)「第1回議事要旨の確認について」、事務局より説明をお願いします。
- (事務局) ～ 資料1について事務局より説明 ～
- (会 長) ただ今の説明について、ご意見等ありますか。
- (委 員) 発言主旨と異なるため、内容を修正してほしい。
- (事務局) 修正内容案は事務局からまた個別に相談する。

### 3 議題

#### (1) 後期基本計画(分野別計画)(案)について

- (委 員) 柱7について、健康マイレージ、スマホ相談などは重要な取り組みだと感じている。
- (委 員) KTXの施設を使用している。ロールカーテンの間から差し込む外の光が眩しく、プレイに支障を感じている。また、市はスポーツ少年団に力を入れているが、クラブチームの存在を知らない子どもが多い。学校にチラシを配布するなど、スポーツに触れ合う機会があることを紹介して欲しい。
- (委 員) ひとつづくり分野の教育関係について、義務教育だけでなく、高校、大学の視点も盛り込めないか。市内高校生・大学生など、将来、江南市を支えていく人材の育成に力を入れていくべきである。私の所属する大学には、地域のボランティア活動の募集が近隣市町から来ており、その辺りも視野に入れていくべきではないか。生涯学習という視点から、高齢者への対応も大事であるため、引退された方も巻き込んで市民大学のようなものを開設するのはどうか。また、大学には防災関係の専門もいる。大学と連携して地域の防災対策を実施していくといいのではないか。
- (委 員) P3、柱1について、幼稚園と小学校、大学生を繋げたらいいのではないか。具体的には、忙しい先生を大学生が手伝うシステムを構築するなど。  
また、江南市に温水プールが出来ればいいと考えている。
- (委 員) 近隣市では、保育園に近所のおじいちゃん・おばあちゃん、障害者の方を迎え入れている事例もある。多世代交流としても大事な視点かもしれない。
- (委 員) 男女共同参画社会の実現に向けて、若い人に伝えるために広く出前講座を実施している。その活動を広く周知するような仕組みを構築して欲しい。市民大学などもよいアイデアで、色々な方を講師として派遣いただけるとよい。  
また、先程、話の出ていた学生ボランティアは大歓迎である。
- (委 員) P7～9について、ヤングケアラーの問題がメディアでもここ2～3年取り上げられている。市の事業が届いていないところで、ヤングケアラーの問題が起きている。江南市の現状はどのようなか。
- (委 員) 市が独自では調査していない。県教育委員会が調査を実施した結果、10%程度の生徒が自分はヤングケアラーだと回答した。来年度以降は、重層的支援として新しい課が出来る予定だが、現在、市では個別に相談があれば対応している。また、学校の先生からは個別に相談を受けたりしている。児童相談所とも連携しながら、対策を取っている。
- (委 員) 是非、ヤングケアラーの支援や問題について記載してほしい。
- (委 員) 子ども基本法の中で、子ども・若者の意見を吸い上げるという趣旨が明記された。これに対して、事務局はどう考えているか。
- (事務局) 今日の市民会議にも若い世代にも入ってもらっている。今後、子ども・若者関係の計画策定時などにおいて、若い世代の意見を聴く方法や場の設け方などについて、取り決めていくことになるのではないかと考えている。

- (委員) 意見を聴くだけでなく、子どもの権利を守る取り組みとなるように進めてもらいたい。
- (委員) P12の個別目標①について、市の実態は把握していないが、市が実施している講座は対面式が多いのではないかと。新型コロナ禍でオンラインが浸透してきているため、生涯学習講座も対面だけではなく、オンラインも入れてはどうか。市の現状はどのようなか。
- (委員) 知る限りない。コロナ禍でも実施していなかった。
- (委員) 是非、実施していただきたい。
- (事務局) SDGsを通じて各団体の活動を繋げていきたいと考えており、登録制度を設けて各企業・団体の活動などを収集し、情報共有する仕組みを構築していきたいと考えている。その際には、お声かけさせていただきたいと考えている。
- (委員) あいちかがやきカンパニーという女性が活躍する企業の登録制度（愛知県制度）があるが、登録している人に出会ったことがない。江南市であいちかがやきカンパニーに登録している企業を見える化し、交流する機会を設けて欲しい。
- (委員) 江南市であいちかがやきカンパニーの情報を吸い上げることはできるのか。
- (事務局) 一度、あいちかがやきカンパニーについて確認する。
- (委員) 社会福祉協議会では、民生指導員が重要な役割を担っていると思うが、成り手がなくなってきた。要因としては、65歳までの定年延長や仕事量の多さが考えられる。
- (委員) 民生委員のフォローアップが大事だと考えている。社会福祉協議会が定例会に入って支えている。また、民生委員活動を区が深く理解していないケースもある。地域づくりは民生委員だけでやるのではないということ、周知していく必要があると考えている。
- (委員) 社会的弱者にとって暮らしやすいまち、健全者にとっても暮らしやすいまちになると考えている。P27、行政の取り組みに民生委員の活動を入れたらいいのではないかと。
- (事務局) 主な事務事業の欄に記載するか関係課と調整する。
- (委員) 高齢者と中学生くらいの子どもと一緒にゴミ拾いのボランティア活動をするなど、世代を超えた繋がりをもって活動をしていくことが必要であると考えている。高校生・大学生とNPOが繋がって活動していく。それぞれの活動が単発で終わるのではなく、1つのまちづくり活動として集約していく仕組みを作っていくべきであると考えている。市内在住の大学生にも焦点を当てた計画にしていくべきではないか。
- (委員) P19、個別目標①のひとり親家庭への就労支援件数について、目標値は達成しているが、絶対値としては少ないのではないかと。
- (委員) ひとり親が資格を取得する際に掛かる費用助成と、資格取得中の無収入期間における経済的な支援をしている。この制度を必要としているすべてのひとり親家庭に対して案内は出来ていると考えており、制度を利用する方の目標値としては適正なものだと考えている。
- (委員) P24について、日中に災害が起こると、若い人が仕事や学校で市外に出てしまっており、地域にいないことが想定される。日中に地域にいる人だけで防災訓練を行うことが必要ではないか。
- (委員) あま市では、防災訓練に地域の高校生が出ている。支援人材として高校生を考えており、今回の検討の参考にさせていただきたい。
- (委員) P33について、障害者のワークライフバランスが取れるような支援が必要なのではないか。障害者が働く時間帯は充実してきているが、余暇の時間帯を充実して過ごせる機会や場所を提供すべき。
- (委員) P40、高齢者用肺炎球菌接種率の実績値が低い。江南市の数値が他市と比べてどうかを知りたい。

(事務局) 担当課に確認しておく。

#### 4 その他

##### 次回以降会議日程について

(事務局) 次回第2回分科会は、12月22日(金)午前9時30分から防災センター研修室2で開催します。事前に開催通知と事前配付資料があれば送付させていただきますので、よろしくお願ひします。

#### 5 閉会

会長より挨拶

以上